

平成三十年総会を開催

関西支部の総会が十月二十日に開催されました。会場は例年通り大阪第一ホテルで午前十一時三十分から総会・懇親会を、二次会を十六時三十分まで実施しました。参加者は総勢二十二名で母校の林校長先生初め同窓会幹部(宮川会長は市議会議員長の公務多忙で欠席)高知工業同窓会大阪支部(鯨工会)大崎副会長、杉山事務局長、永下石川県大阪事務所長、長谷川北國新聞社大阪支社報道部長、藪中京支部長、石川関東支部長など多彩な顔ぶれで和やかな雰囲気の中無事終了した。関西支部の恒例行事のビンゴゲーム大会で大いに盛り上がり、本年初

めて母校吹奏楽部のマーチングバンドの演奏DVDを林校長先生のご厚意で借りし、県事務所から借用のプロジェクトで視聴し全員が後輩の活躍に拍手した。冒頭、支部長から本年は一月、二月の北陸地方の大雪、関西では台風二十一号、二十四号の被害、震度六弱の大阪北部地震被害、災害並みの猛暑等、自然災害や気候異常の厳しい一年であったが、無事に総会を開催出来喜んでいと挨拶があり、支部活動の幹事会や本部総会の報告、支部会員動向等を報告、本部山崎副会長からは来年の創立八十年記念事業の成功に向けた募金活動への積極的な協力要請がありました。

石川県立小松工業高等学校同窓会 関西支部

関西同窓会だより

第14号

令和元年(2019年)7月8日
発行責任者:黒田幸夫関西支部長



平成30年度 小松工業高校同窓会 総会・懇親会

最後列左から 大谷幹事 高木幹事 須谷顧問 向井副支部長 沢田白山能美支部長 長谷川北國新聞社大阪支社報道部長
二列目左から 亀田さん 中出相談役 村田さん 上田さん(中京支部) 金子教頭 杉山高知工業同窓会大阪支部事務局長 西田幹事 宮下監事
前列左から 石川関東支部長 村先同窓会顧問 黒田関西支部長 山崎同窓会副会長 林校長 大崎高知工業同窓会大阪支部副会長 藪中京支部長

2019年度 関西支部同窓会 総会・懇親会開催予定

日時 10月26日(土) 11:00 受付開始

総会・懇親会 11:30~14:30 懇親会終了後二次会(90分)を予定
開催時間はお昼ですので、ご注意ください。

会場 JR大阪駅前「大阪マルビル 大阪第一ホテル」6階宴会場
(例年と同じ会場です) 電話 06-6341-4411(代表)

関西支部同窓会 総会「思い出の写真」 その13

これまで開催の関西支部総会の写真から紹介します。懐かしい方々のお顔を見つけてください。今後も会報で順次掲載する予定ですので、懐かしい写真をお持ちの方は支部長まで送ってください。写真はコピーを取らせていただき返却いたします。

平成28年11月5日(土)
大阪マルビル
大阪第一ホテル



平成29年11月29日(土)
大阪マルビル
大阪第一ホテル





高木幹事 黒田支部長 北村君 田中君 川上さん 宮川同窓会長
志賀君 小橋君 安井君 西谷君 住本君

一月二十五日午後三時半から母校同窓会館で本年の卒業生で関西地区に進学、

就職する新卒者対象に中京支部と合同で説明会を開催しました。関東支部は都合により欠席。

本年は昨年同様雪も無く、穏やかな日と予定通り開催出来ました。

(二十六日は朝から五センチの積雪でした)

金子教頭先生から各地域の同窓会の活動紹介や何かあった場合は支部を頼る、人脈を頼る、困り事があれば相談する事も出来るので是非同窓

関西地区へ就職・進学の新卒者説明会開催される

関西支部長 黒田幸夫

一月二十五日午後三時半から母校同窓会館で本年の卒業生で関西地区に進学、就職する新卒者対象に中京支部と合同で説明会を開催しました。関東支部は都合により欠席。本年は昨年同様雪も無く、穏やかな日と予定通り開催出来ました。(二十六日は朝から五センチの積雪でした)金子教頭先生から各地域の同窓会の活動紹介や何かあった場合は支部を頼る、人脈を頼る、困り事があれば相談する事も出来るので是非同窓

◎住所変更の場合は、速やかに連絡をお願い

住所変更・電話番号変更の場合は、支部名簿管理担当へ連絡して下さい。受けた連絡は、業者委託名簿も更新するように手配します。一旦、宛先不明になりますと以降の案内・同窓会たよりなどは送れなくなります。毎回の連絡で六～十名は宛先不明として戻ってきます。

◎会報への寄稿とご意見のお願い

今後の会報に掲載する寄稿文をお願いします。「学校の思い出」「趣味紹介」など同窓会の皆様にお伝えするメッセージを、発表して下さい。文字数の制限はしませんが八〇〇字程度で、写真も一緒をお願いします。但し、会報では白黒印刷になります。会報への忌憚のないご意見をお願いします。内容への感想、間違い指摘、会報発行方法など気づいたことがあればどんなことでも意見をお寄せください。但し、個人への中傷誹謗に類する言葉は受付ません。

◎送り先は下記いずれかの方法をお願いします。

- ① 郵送：〒573-0012 枚方市松丘町15-15 黒田幸夫
 - ② 電話：072-849-2553 ③ Eメール：kurodata@paw.hi-ho.ne.jp
- 同窓会ホームページは内容も充実し、小松工業高校ホームページともリンクしています。小松工業高校同窓会ホームページ <http://kth-dousoukai.net/>

ご来賓のあいさつ



山崎同窓会副会長

宮川同窓会会長は市議会議長の業務多忙で欠席となりました。

八十周年記念事業の募金会長は大変な仕事で固定費を見直し、足を使って集める事が重要で加賀支部から川上に向かって会員宅を一軒一軒訪問し、協力を依頼している。尚一層の募金への協力をお願いする。

石川県永下事務所長 四月に新しく県事務所長として赴任し、一人暮らしの自炊生活にも慣れて来ました。今後一層の協力関係



で大阪で石川県の存在をアピールして行きたい。

林校長先生

常日頃の石川工業高校へのご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。母校の生徒も文武両面で全国大会で頑張っています。一層のご協力をお願いします。

八十周年まで一年を切りました。記念事業の成功に向けて同窓会の皆様と協力



して頑張ってください。(母校教職員は県内の企業先への募金活動に尽力)

大崎高知工業同窓会 大阪支部副会長

総会開催を心からお喜び申し上げます。堀田会長が都合で欠席しますが、宜しく伝えてと伝言を預かりました。

本年は台風、地震が多かった。寝屋川地区も大きな揺れがあった。台風とのダブルパンチで、家の近くの大木が多く倒れており被害も多かった。輪島関が亡くなられた事も残念だった。明治維新から百五十年、高知でも色々な催しが開催されています。今後も両校の友好を図って行きたい。



平成 30 年度 小松工業高校同窓会 関西支部総会・懇親会 出席者名簿 (敬称略)

ご来賓	氏名	卒年
石川県大阪事務所 所長	水下 和博	—
北國新聞社大阪支社 報道部長	長谷川 文秀	—
小松工業高等学校 校長	林 純一郎	—
小松工業高等学校 教頭	金子 伸二	—
高知工業高等学校同窓会大阪支部副会長	大崎 久光	—
高知工業高等学校同窓会大阪支部事務局長	杉山 康弘	—
小松工業高等学校同窓会副会長	山崎 秀雄	S44年建築
小松工業高等学校同窓会顧問	村先 憲之	S41年電気
小松工業高等学校同窓会白山能美支部長	沢田 貞	S46年建築
小松工業高等学校中京支部長	藪 卓二	S46年機械
小松工業高等学校中京支部会員	上田 和彦	S39年建築
小松工業高等学校関東支部長	石川 隆治	S39年機械

計 12 名

関西支部	氏名	卒年
相談役	中出 良太	S24年機械
顧問(元支部長)	須谷 修治	S34年電気
	村田 辰三	S34年紡績
監事(前支部長)	宮下 章宏	S35年機械
	亀田 浩	S35年機械
支部長	黒田 幸夫	S40年電気
副支部長兼会計	向井 均	S40年機械
幹事	大谷 孝幸	S40年電気
幹事	西田 和雄	H1年機械
幹事	高木 浩司	H5年繊維工学

計 10 名

合計 22 名

母校紹介

石川県立小松工業高等学校 教頭 金子伸一



平成30年度の卒業生230名の進路内訳は就職182名（県内企業162名、県外企業11名、公務員9名）と進学48名（大学20名、短大2名、専門学校等26名）です。近年の好景気により求人数は1246名であり求人倍率6.9倍の売り手市場となっています。就職希望者の多くは地元志向が強く、県外就職は11名（関西地区6名、中京地区4名、関東地区1名）に留まり、関西支部の同窓生の方々はじめ県外支部の同窓会の皆様には後輩がなかなか増えずご苦労をおかけしています。その反面、例年就職希望者の80%

を超える生徒が南加賀地区の企業に就職することから、本校は地元に着し、地元企業を支える高校として評価を得ています。工業人の育成を目指し、工業部ではものづくりの甲子園と呼ばれる「ものづくりコンテスト」に取り組んでいます。石川県大会の6部門（旋盤、電気工事、電子回路、木材加工、測量、化学分析）のうち5部門において優勝し北信越大会に進出しました。唯一北信越大会に出場できなかった測量部門は、石川県高等学校測量技術コンテストにおいて優勝しリベンジを果た

しました。昨年度は旋盤部門において日本一の栄冠を掴んでいます。運動部ではハンドボール部、ウエイトリフティング部、陸上部、少林寺拳法部、弓道部、ボウリング部の6競技がインターハイ等の全国大会に出場し、ウエイトリフティング部は53kg級で全国優勝を果たしました。文化部では吹奏楽部が全国総文に出場しています。

現代はAIをはじめとする技術の進化が速く、未来の見えない時代であり、習った通りに動いただけでは不十分で、自ら考え答えを見つけない限りなりません。



本校では昨年度から金沢工業大学と連携し問題発見・解決型学習（PBL）に取り組んでいます。この学習は、日常の生活の中から不便や問題点に気づき、個人やチームで試行錯誤を繰り返し、解決方法を見つけ、提案するものであり、これからの工業人に求めら

れる能力を育成しています。本校の学習と部活動の両輪で社会において活躍できる工業人の育成に努めています。今後とも同窓生の皆様方からのご指導・ご支援をよろしく願います。（注）金子教頭先生は春の定期人事異動で県立工業高校教頭に異動されました。

大先輩・中出良太さん テレビ出演「開運なんでも鑑定団」

関西支部元支部長の中出さんが、『開運なんでも鑑定団』（テレビ東京系）に出演され、三十年十月三十日（火）に放送された。

中出さんのお宝は、五十年前に大阪の骨董屋から購入された「西郷隆盛の書」。

【プロフィール】
まず、中出さんのプロフィールが紹介された。昭和六年に石川県能美市生まれ、（小松工業第二本科機械科二十四年卒、翌年総合小松高校機械科を卒業）二十七年小松製作所大阪工場に臨時工入社し設計配属、働きながら大阪工業大学夜間部を卒業、三十二年小松製作所を退社。中企業に入社、四十三年プラント機械設計、製作、請負仕事を七十歳頃まで。この間骨董、絵画、美術に興味を抱

き、関西各美術館のイベントを見学して見分を広めた。二十五歳の時に十二指腸潰瘍を患う。入院中に「愛子さん」に出会い一目ぼれで結婚、二人の子どもに恵まれた。奥さんは看護師で定年後七十歳まで勤め、退職金の百万円を勤めていた病院に寄付された。そんな奥さん「だったとのこと可愛かった！番組の中では、奥さんとのおのろけ話と「若さ」を大いに発揮された。当年八十八歳です。

【鑑定への申告】
中出さんは、お宝を当時四万五千円で購入、今回百七十万円の評価だと自信満々！即売却して、この資金で「再婚」したい！これからの人生や！と。

【鑑定結果】
これは偽物ですね。鑑定



「テレビ大阪」の画像から転載

結果は壹万五千元です。中出さん「これ、どんなんで壹万五千元なんや？」と小松弁で反論！書は『望之眞萬』（右から読み）と書かれているが、西郷隆盛の書ではなく残念ながら偽物です！とのこと。

関東支部から応援出演をして頂き、その顔がテレビにアップで映し出された。ご高齢にしては、テレビ慣れしていると云わんばかりに堂々として、そしてとてもお元気で出演されていた。（執責：関西支部 須谷修治）

第二十二回全国高等学校 ボーリング選手権大会出場



本年三月二十一日から二十三日に開催の春高ボーリング京都大会に石川県代表として母校の選手団が出場した。（玉田君、鎌谷君、池田君、高地君の四名）全国から選抜された男女、四十五校、百三名の選手により個人戦（一人が六ゲーム）、団体戦（一チーム二名が各六ゲーム）を投げ、倒したトータルピン数で個

人戦、団体戦の勝敗を決定する。更に各自の十二ゲームのピン数で上位十六名がトーナメントで競い選手権者を決定する内容。母校選手は二百点超えの次は百五十点前後になるなど好不調の波が大きく成績は振るわず残念な結果となった。関西支部からは須谷さん、宮下さん、黒田の三名が応援に駆け付けた。